**学校における「こなす仕事」の捉え方について**

* 生徒に関わることを主な仕事として捉える教員には，生徒への直接的な関りは，意義が大きく手応え

具合も大きく捉えられやすいが，「こなす仕事」は，処理的な面を持ち，意義が捉えにくい面がある。

* 「取り組む仕事」は，特に見通し・計画性を伴うと，成果や意義に繋がりやすく，手応えもあって，職能

成長に繋がりやすい。

* 「こなす仕事」は，正確性とスピードが大事であり，効率性（業務改善視点）が求められる。
* 組織的に整理された教員の仕事は，生徒の育成，学校の信頼，社会への貢献などの〔大きな価値〕に

繋がっていることの理解と日常的な確認が大切になる。

報酬　　社会的な立場　　社会的な信頼

教員の日常業務

こなす仕事

取り組む仕事

**目標設定・計画性**

**正確性・スピード**

書類処理，

会計処理，

事務処理

など

授業，学級経営，

部活動，

開発・研究　など

小テスト処理

成績処理　など

？

？

大　＞　職能成長の期待

眼前の「処理すべき業務」と捉えやすい

⇒　片付けることが

目的になりやすい

《意義・価値が理解しにくい》

実務処理力の獲得 ＜ **大**

直接的な手応え，人格形成への参画，

やりがいの実感，教育の意義の確認　など

《意義・価値が理解しやすい》

当該者・当該校への信頼　公教育への信頼　社会全体への貢献